

令和3年度第2回横浜南陵高等学校 学校運営協議会 記録

1 日 時 令和3年11月22日 14時～

2 出席者 委員6名
校長 副校長 教頭 グループリーダー6名

3 内 容

(1) 校長あいさつ

(2) 令和3年度学校運営協議会委員の紹介及び部会構成について

ア 委員の紹介

イ 部会構成について

学校評価部会は必置の組織で学校運営について委員から評価をいただくもの。その他、学校の実情に応じ部会を設置することができ、本校では学習キャリア部会及び地域安全協同部会を置くこととした。次回3月の運営協議会においては、それぞれの部会を開催し特化してご意見を伺う。

(3) 学校より

ア 部活動紹介動画の視聴

① ボウリング部の大会での様子

② 社会福祉部の全国高校生手話パフォーマンス甲子園における演技の様子

③ 男子ハンドボール部の活動の様子

イ classiに係る説明 (学習支援グループ)

(4) 授業見学

ア 6時間目の授業を全学年・全教科について巡回し視察

イ 意見交換 (主な意見)

- ・初めて授業風景を見学した。生徒は意欲的に学習していた。先生も生徒に発問するなど一方的ではなく双方向で取り組まれており、大変すばらしいと感じた。
- ・音楽の授業では、パネルを設置して感染防止対策を講じており、環境整備が大変だと思った。黒板にはわかりやすく授業の目標が書かれており、生徒がどうすればよいかが一目でわかるので素晴らしい工夫だと思った。
- ・学年が進むにつれて、授業への集中度が変わってくるように見えた。ICT活用は確かに効率がよいと思うが、生徒の学習への動機づけに難しさを感じた。環境汚染に関する授業では生徒に語り掛けていた。そうした取組の中から学習の動機が生まれるのではないだろうか。
- ・静かにしっかりと聞いており、授業が分かりやすいのだろうと思った。小学校ではノートの取り方や鉛筆の持ち方など授業そのものではないことの指導が多いのが実情で、授業に専念できることがうらやましい。
- ・先週公開研究授業に、本校の職員も参加させてもらい、大変参考になった。「総合的な探究の時間」における交流授業では、南陵の1年生に本校の生徒が発表する予定。こうした連携は大変ありがたい。
- ・第一印象はとても静かであるということ。授業中のマナーやルールについて、将来社会で困らないためにも、学校教育で段階的に指導していくべきと感じる。

(5) 議題

ア スクール・ポリシーについて

イ 令和3年度本校の取組及び学校評価目標の中間まとめについて

・学習支援グループ

・研究広報グループ

- ・キャリア支援グループ
- ・生活支援グループ
- ・活動支援グループ
- ・管理運営グループ

〔質疑応答〕（主な意見・質問等）

- ・3年希望者の実力テストを受ける生徒の割合は他校と比べて多いのか。
- ・SCによる相談の内容はどのようなものか。例年と比べて増えているのか。
- ・インターンシップはどんな場所が受け入れてくれているのか。
- ・SCの来校回数を増やすために、この学校運営協議会などを通して行政に意見具申することはできないだろうか。SCだけでなく教育相談コーディネーターにまず相談する環境を作ってはどうか。

(6) 校長より閉会あいさつ